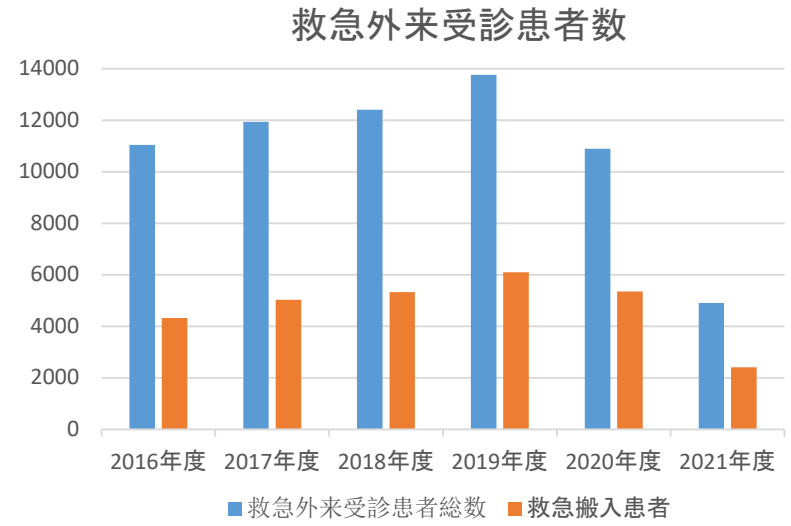
救急外来

救急外来受診者数は、2019年度約14,000人、
救急車搬送台数は6,000台を超えました。
昨年から今年度にかけては
COVID-19感染拡大により陰圧室を使用しての診療が増加しており、
より多くのマンパワーを必要としています。

2020年11月に診察処置室及び陰圧診察室エリアが完成。
更に2021年6月には、ウォークイン患者さんの診察スペースや
重症処置室が完成し、更にエリアが大きくなりました。

救急患者対応のみならず、感染症対策、院内コードブルー対応など
スタッフ一同協力して頑張っています。



救急外来診療エリア(東)

どんな時も
手指衛生が大事！

通常は5床ですが、
災害時には、増床可能です。

誰もがわかりやすい物品配置
を目指してます

救急外来西エリア

西エリアは、2021年6月に完成！
診察用個室3室
観察用スペース
重症処置室などを備えています。
患者さんのプライバシーに配慮して
病状説明や診療を行えるスペースが
できました。

重症処置室
COVID-19感染症への対応や
挿管などエアロゾル発生処置を行う際には
陰圧室として使用しています。

感染症診察室

- 前室があり、中は陰圧です。
- トイレ完備
- 状況によって必要な感染防護具を選択します。

除染室

- シャワーがあり、
  除染作業ができます。
- 陰圧室としても使用可能です。

一日の流れ

- 勤務開始、チェックリストに従って、物品確認や機器の作動状況の確認を行います。
  どこに何がある？使い方は？
  チェックしながら、覚えることも大事！

- 夜勤Ns・日勤Ns・救急医師と共にブリーフィング。
  ex) 入室中の患者さんの状況
  夜間の出来事
  物品の故障や不足
  当日の予定

- 勤務終了時デブリーフィング

ウォークイン患者さんの対応

- 救急外来では、ほとんどの患者さんが緊急で受診されます。事前の情報は、多くありません。
- 診察ベッドがいっぱいの時もあります。
- どの患者さんを優先して診察すれば良いのかトリアージが重要です。
- 携帯タブレットを活用して、JTAS（症候に基づく緊急度判定支援システム）アプリ導入予定です。

救急搬送受け入れ

救急隊からホットラインが鳴ります。

〇〇救急です。
バイタルは、・・・
意識レベルは・・・

医師が応需の判断をします。

京大です。
受け入れ可能です。
何分ぐらいで到着しますか？

CPA蘇生（訓練の様子）

2分経過しました。
パルスチェックお願い
します。

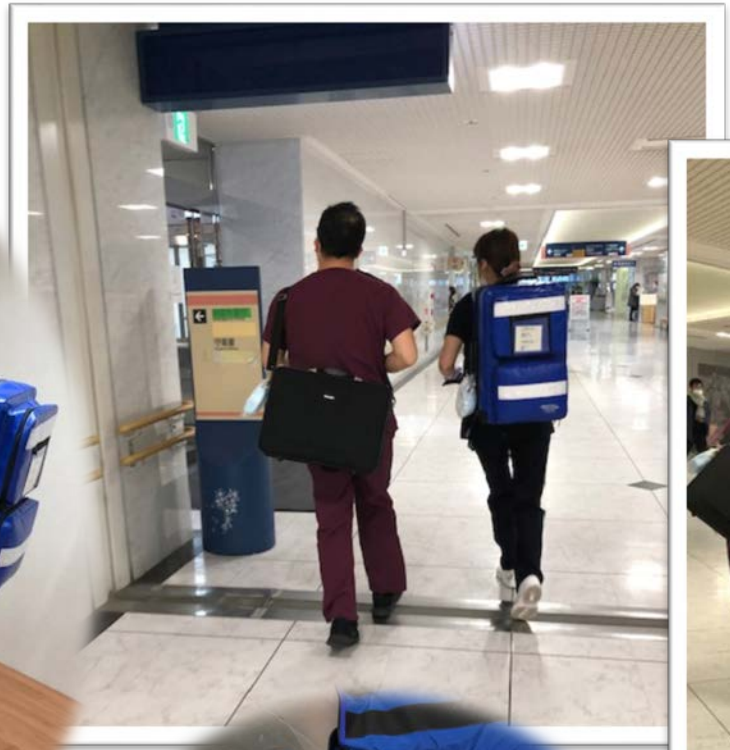
コマンダーの指示に従って迅速に
処置を行います。
チームワークが重要です！

PEA！
アドレナリン1A IV して
下さい。
心マ続けてー

コードブルー対応（シミュレーション風景）

急変です。
すぐに〇〇病棟
に来て下さい。

コードブルー対応時の
いつものスタイル



バッグ持ちました！！
ストレッチャもー
急いで！！

緊急に必要な物品そろえてます。
すぐ使えるように、日々の点検が大切です。